

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：ゲロ一発

製品番号 (SDS NO) :KG200G

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：汚水処理 嘔吐物処理

使用上の制限：使用用途以外の使用はお控えください

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社ヤザワコーポレーション

住所：東京都荒川区東日暮里1-32-6CROSSビル

電話番号：03-5615-0241

FAX：

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

急性毒性(経皮)：区分に該当しない

急性毒性(吸入)：区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性：区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分に該当しない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分なし

水生環境有害性 長期(慢性)：区分なし

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

本品は、そのままでは粉塵爆発性混合物を生成する恐れが事実上ない。

しかしながら、本品の微粉部分は空気と混合することにより粉塵爆発を起こすおそれがある。

粉状物質の一般的な有害性として、多量に吸入した場合に肺内に蓄積することによって
肺障害(じん肺の諸症状)等を引き起こすことが知られている。

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は
医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて

[ここに入力]

容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：無理に吐かせず、口にあるものはかき出し、水ですすぎ
速やかに医師の診断を受ける。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
炭酸水素ナトリウム	50-80	144-55-8	1-164
アクリル酸重合物 ナトリウム中和物	20-40	9003-04-7	6-901
薄荷白油	0.5-2	68917-18-0	-
			-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置

空気の清浄な場所で安静にし、直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

消防を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消防活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[ここに入力]

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(注意事項)

粉塵を吸入しないこと。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

特になし

接触回避

10章記載の情報を参考すること。

衛生対策

特になし

保管

安全な保管条件

(避けるべき保管条件)

飲食物、動物用飼料から離して保管する。

乳幼児の手の届かないところに保管すること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度、濃度基準値データなし

許容濃度、記載なし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

[ここに入力]

皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：個体(粉体)

色：色

臭い：薄荷臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点データなし

自然発火点データなし

分解温度データなし

自己促進分解温度/SADTデータなし

pH：データなし

動粘度データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：難溶

溶媒に対する溶解度データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度：1.075g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

20°Cでの蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

その他のデータ

臨界温度データなし

蒸発速度データなし

VOCデータなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

[ここに入力]

危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
知見無し
危険有害な分解生成物
アルカリ性灰分

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口):該当なし
経口毒性:該当なし
局所効果
皮膚腐食性:該当無し
眼に対する刺激性:該当なし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性:分類できない
生体蓄積性
生体蓄積性データなし
土壤中の移動性
土壤中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること
